

目標達成計画

作成日: 令和 3年 5月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 23 | 入居者の思いや意向の把握 ケース記録には、本人の言動・表情を具体的に記載する。 | ケース記録記載時、より具体的(言葉・表情・反応等)を記録し、入居者の思い、意向を具体的に把握する。 | 入居者との関わり時は、少しでも多くの言葉を引き出すように努め、ケース記録への記載時は、より細かく記録を残す。家族からも積極的に情報を得て、職員間で共有する。 | 6ヶ月 |
| 2 | 44 | なるべく薬に頼らず、便秘や失禁を減らし、より自立したトイレでの排泄が出来るように支援する。 | 食事形態等、適切な食事や水分補給を行う。 医師とも連携し、便秘・失禁予防体操を取り入れる。 | 水分補給拒否者には、セリー等を活用するなど、便秘改善に努める。 排泄前のサイン・排泄パターンのモニタリングを進め、適切な誘導を行う。 | 12ヶ月 |
| 3 | 49 | 車椅子の方が多くなり、頻繁に外出する事が難しくなっている。 | 体調・気候yが良い日は、少しでも散歩・ドライブなどの外出が出来るように支援する。 外出困難な方は外気浴を行う。 | 両ユニット間で協力し、全職員で意識して取り組む。 外出困難な方は、施設周囲やベランダを活用し、季節感を感じていただいたり、気分転換を図る。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。